

お客様が PowerStore ストレージを選択する主な理由



Dell EMC PowerStore は、今日のクラウド モバイル IT インフラストラクチャの俊敏性と運用の汎用性において、新たなレベルを実現しました。コンテナ化されたソフトウェア アーキテクチャに基づく PowerStore は、新世代の優れたストレージ テクノロジーを採用して、パフォーマンス、拡張性、およびストレージ効率の一般的なトレードオフを排除します。また、VMware の ESXi ハイパーバイザーの高度な機能が組み込まれた PowerStore により、これまでにない柔軟性を確保できます。たとえば、アプライアンスで直接ユーザー アプリケーションを仮想化したり、お客様の IT 管理環境と VMware エコシステムにシームレスに統合したりすることができます。

1 | ソフトウェアデファインド アーキテクチャ

PowerStoreアプライアンスは、高度なシステム機能を提供および統合するための独自の機能を備えた、コンテナベースのソフトウェア アーキテクチャに基づいて構築されています。コンテナのモジュール性により、新しい機能のポータビリティ、標準化、市場投入期間の短縮を実現することができ、導入の柔軟性が最大限にまで高まります。PowerStore 専用に関与された新たなモジュールに加え、Dell EMCが提供するクロスプラットフォーム ソリューションのポートフォリオの中から実績あるアプリケーションと機能（AppSync、SRM、Data Protection Suiteなど）を、PowerStoreの運用環境に直接統合することが可能です。

2 | AppsONによる卓越した俊敏性

PowerStoreのSoftware-DefinedアーキテクチャとオンボードのVMware ESXiを統合することで、エンタープライズ ストレージの統合において新たなレベルを実現します。具体的には、ローカルのオンレイ アプリケーション環境でvSphere 管理環境とサーバー リソースを組み合わせるといった比類ない統合のメリットを得られます。また、AppsONには、アプリケーション導入の俊敏性が向上するなどのメリットがあります。たとえば、PowerStoreアプライアンスとVMware ESXiサーバー間でアプリケーションをシームレスに移行したり、サーバーとネットワークの占有領域をなくしてスタックを縮小し、エッジとリモートの導入でスペース効率を高めたりすることができます。

3 | インテリジェントな自動化

PowerStoreでは、主要なDevOpsとオープン管理フレームワークの広範なエコシステムを統合することで、アプリケーション開発を合理化するとともに、ストレージ ワークフローを自動化できます。また、vSphereのストレージ管理とプロビジョニング、VAAI、VASA、ネイティブなvVolsサポートといった、VMwareの管理と運用の機能を包括的に統合可能です。コンテナ化とDevOpsが急増している領域では、PowerStoreユーザーは、CSI、Kubernetes、Ansible、vRealize Operations 向けのものを含むプラグインを利用できます。

4 | 自律型オペレーション

PowerStoreは、インテリジェントなデータ配置によって、アプライアンスのストレージ ボリュームを追加する際にバランスの取れたプロビジョニングを行い、システムの使用率とパフォーマンスを向上させます。一方で、機械学習エンジンによってクラスターを継続的に監視して、クラスター リソースを再バランシングするアクションを提案するとともに、最適な効率性の維持に必要な変更を特定し自動化します。

5 | 次世代のストレージ テクノロジー

PowerStoreは、進歩した、ストレージ、インターフェイス、ネットワークの最新テクノロジーを活用するように、ゼロから設計されています。エンドツーエンドのNVMeに対応したPowerStoreアプライアンスのアーキテクチャは、高帯域幅と低レイテンシーを備えたソリッドステートストレージのメリットをすべてもたらして、フラッシュSSDの要件を満たすだけでなく、新しいデュアルポート インテル Optaneストレージ クラス メモリー（SCM）によって、さらに優れたパフォーマンスも実現します。PowerStoreの高可用性アクティブ/アクティブ設計は、単一のシステムでブロック、ファイル、vVolsをネイティブにサポートします。また、インテリジェントな常時稼働のデータ削減（高度な重複排除と圧縮を含む）によって一貫性のある優れたストレージ効率を実現するとともに、インテルQuickAssistテクノロジーを利用したハードウェア アクセラレーションによってパフォーマンス上の大きなメリットをもたらします。

6 | クラウドの利便性を高める

PowerStoreにより、運用の一貫性を維持しながら、オンプレミス インフラストラクチャをハイブリッド クラウド ソリューション環境に簡単に統合できます。VMwareをご利用中のお客様は、VMware Cloud on AWSにより、既存のオンプレミスvSphere 環境をAWSクラウドに拡張し、PowerStoreが備える、VCF 導入対応のブロック サービスとファイル サービスを提供することで、シームレスなハイブリッド クラウドを実現可能です。PowerStoreのAppsON 機能をvSphereで使用すると、PowerStoreとAWSとの間で、要件に基づいて、アプリケーションとデータを簡単に移行できます。そのため、管理ツールを追加しなくても、運用がシンプルで一貫性のあるものになります。

7 | スケール アップとスケールアウトによる柔軟な拡張

高度なクラスタリング テクノロジーにより、PowerStoreでは、最大 4 台のアプライアンスに拡張して、システムの処理能力を高められます。また、個々のドライブを拡張して、容量追加とリソースのバランシングを柔軟に行えます。ストレージの拡張性に対するこのバランスの取れたアプローチと、コスト効率のよいスケール アップ機能というミッドレンジ ストレージが持つ従来の強みによって、アプリケーション ニーズの増大と多様化に応じたパフォーマンスの向上を実現できます。また、インテリジェントなリソース バランシングにより、PowerStoreは、ストレージとワークロードのバランスを自動的に調整して、システムの有用性を最大限に高めます。

8 | 予測分析とプロアクティブな監視

CloudIQは、PowerStoreアプライアンスに無料で付属している、ネイティブなクラウドベースのストレージ分析アプリケーションです。これにより、システムの正常性、パフォーマンス、容量、構成、オンレイ保護の各メトリックを包括的に監視できます。これらのメトリックを機械学習や予測分析の測定値と組み合わせ、キャパシティ プランニングを改善し、業務に影響を及ぼす前に問題を修正します。また、CloudIQでは、アレイごとに包括的でプロアクティブなヘルス スコアを取得できるため、各 PowerStore アプライアンスによって、高い可用性を備えた、ビジネス データの処理に最適な基盤を築くことができます。

9 | 将来を見据えたAnytime Upgrade

デルは、4:1のデータ削減保証と**Anytime Upgrade**を含むFuture-Proof Programという業界で最高レベルの柔軟性を誇るコントローラー アップグレード プログラムによってすべてのDell EMC PowerStoreシステムをサポートしています。¹ Anytime Upgradeは、次世代のアプライアンスまたは次世代以降のモデルへのデータ イン プレース アップグレード、または最初のシステムと同等の2 番目のシステムによる既存環境のスケールアウトを提供します。PowerStoreのノードは、既存のドライブと拡張エンクロージャを維持しながら無停止で交換可能です。この際、新たなライセンス取得または追加購入は不要です。PowerStoreを使用すると、大掛かりなアップグレードやダウンタイムなしにインフラストラクチャをモダナイズできます。アプリケーションに影響を与えることもありません。詳細については、Future Proof Programに関するページを参照してください。

1: 公開情報を用いて、コントローラーのアップグレード向けの最高レベルのプログラムおよびサブスクリプション製品と比較した、Dellの分析に基づきます(2020年4月)。販売時にAnytime Upgrade StandardまたはSelectオプションおよび最低3年間のProSupportまたはProSupport Plus契約を購入する必要があります。アップグレードは請求日の180日後以降に利用可能になります。



Dell EMC PowerStore
ソリューションの[詳細情報](#)



Dell EMC エキスパートへの
[お問い合わせ](#)